



薬生安発 1120 第 4 号

平成 27 年 11 月 20 日

各 { 都 道 府 県  
保健所を設置する市  
特 別 区 } 衛生主管部 (局) 長 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長  
( 公 印 省 略 )

ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査事業に対する協力について  
(依頼)

ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査事業については、平成 24 年 11 月 29 日付け健感発 1129 第 1 号・薬食安発 1129 第 1 号・雇児母発 1129 第 1 号厚生労働省健康局結核感染症課長・医薬食品局安全対策課長・雇用均等・児童家庭局母子保健課長連名通知「ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査事業に対する協力について (依頼)」に記載しているとおり、国立感染症研究所を中心とした専門家グループによる症例対照研究として実施し、全国の日本小児科学会専門医研修施設 (関連施設) に御協力いただき、原因不明の乳幼児の突然死症例及びその対照乳幼児に係る情報の収集を行っているところです。

当該調査事業は、可能な限り多くの症例情報を集める必要があることから、本年度においても継続して実施しているところであり、今般、別添のとおり、公益社団法人日本小児科学会会長及び一般社団法人日本小児救急医学会理事長宛てに協力依頼通知を発出しましたので、貴管下の医療機関等への周知について御協力をお願い申し上げます。

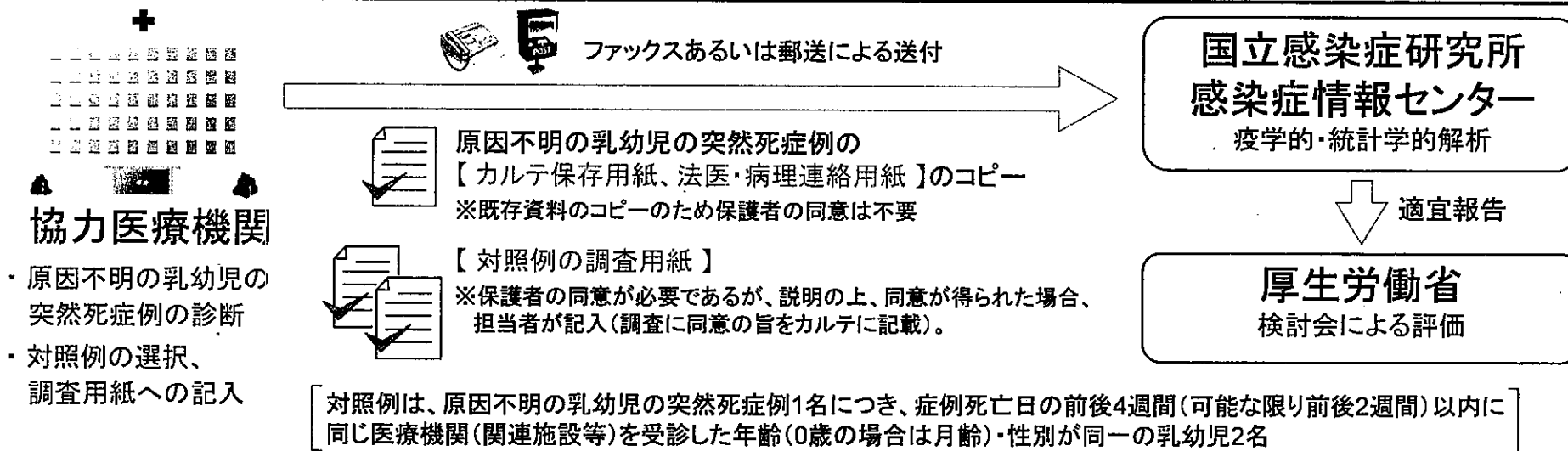
# ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査(概要)

別紙

- 【背景】平成23年3月にインフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを含むワクチンの同時接種後の乳幼児の死亡が複数報告されました。
- ・調査の結果、薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会・子宮頸がん等ワクチン予防接種後副反応検討会合同会議において、ワクチンの接種と死亡との直接的な明確な因果関係は認められず、ワクチン接種の安全性に特段問題があるとは考えにくいとされました。
  - ・海外ではワクチン接種と突然死の関連についての疫学調査が行われている国もありますが、日本国内で同様の調査研究がないことから、この度実施することとなりました。

【調査目的】わが国におけるワクチン接種と乳幼児の突然死との関連について検討する。

【調査方法】原因不明の乳幼児の突然死症例について前向き症例対照研究を行う(下図参照)。



【カルテ保存用紙、法医・病理連絡用紙】について

乳幼児突然死症候群(SIDS)診断ガイドライン(第2版)の乳幼児突然死症候群(SIDS)診断のための問診・チェックリスト

※[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/sids\\_guideline.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/sids_guideline.html)よりダウンロード可能

[平成24年度厚生労働科学研究(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「乳幼児突然死症候群(SIDS)および乳幼児突発性危急事態(ALTE)の病態解明および予防法開発に向けた複数領域専門家による統合的研究(研究代表者:戸町創名古屋市立大学長)』により作成]

【対照例の調査用紙】について

ワクチン接種と乳幼児の突然死に関する疫学調査(対照例用問診・チェックリスト)

※<http://www.nih.go.jp/niid/ja/vaccine-j.html>よりダウンロード可能

[乳幼児突然死症候群(SIDS)診断のための問診・チェックリストを元に本疫学調査用に作成]